

平成 29 年度警察政策研究センターの活動概要一覧

<平成29(2017)年>

4 月～ 所長及び教授が東京大学公共政策大学院、京都大学法科大学院・公共政策大学院、一橋大学国際・公共政策大学院、早稲田大学法科大学院、中央大学法学部・総合政策学部・法科大学院、首都大学東京都市教養学部、法政大学法学部等で講義を実施したほか、本庁各部局職員の講師派遣を斡旋するなど警察政策に関する研究の発展及び普及を図った。

慶應義塾大学大学院法学研究科（市民生活の自由と安全研究会）と共同研究を実施した。

5 月 15 日 （公財）公共政策調査会と共催でセミナー「反社会的勢力（総会屋・暴力団等）問題と企業の安全を考える」を開催（会場：グランドアーク半蔵門）。

5 月 20-21 日 所長らが日本刑法学会第 945 回大会（会場：慶應義塾大学）に出席。

6 月 19-21 日 教授がスウェーデン・ストックホルムで開催されたストックホルム犯罪学シンポジウムに出席し、日本における国際テロ情勢と対策の推進状況について発表し、各国研究者、実務家等と意見交換を行った。

7 月～ 教授が前年度に引き続き、国家公務員採用総合職試験（行政、政治・国際）の専門委員として試験問題の作成・検討に参加。

7 月 5 日 警察政策学会と共催でシンポジウム「災害対策の現状と課題～東日本大震災及び熊本地震への対応を踏まえた災害応急対策における今後の課題～」を開催（会場：グランドアーク半蔵門）。

7 月 26-29 日 教授がタイ・マヒドン大学で開催されたアジア警察学会に出席し、日本における国際テロ情勢と対策の推進状況について発表し、各国研究者、実務家等と意見交換を行った。

9 月 13-15 日 助教授が英国・カーディフで開催されたヨーロッパ犯罪学会に出席し、日本における国際テロ対策について発表し、各国研究者、実務家等と意見交換を行った。

9 月 25 日 社会安全フォーラム「我が国のサイバー犯罪対策の現状とこれから～プロアクティブな被害防止対策の推進に向けて～」（基調講演等：サーシャ・アレクサンダー・ヨーペン（フラウンホーファー研究機構研究員）、ルーク・デンボスキー（デビボイス&プリンプトン法律事務所パートナー）、今村剛（警察庁生活安全局情報技術犯罪対策課長））を開催（会場：グランドアーク半蔵門）。

11 月 15-18 日 教授が米国・フィラデルフィアで開催された米国犯罪学会に出席し、日本におけるテロ対策について発表し、関係各国の研究者、実務家と意見交換を行った。

12 月 1 日 警察政策フォーラム「薬物犯罪の現状と課題～再犯防止及び大麻の拡散防止を中心に～」(基調講演等: 太田達也(慶應義塾大学法学部教授)、川畑俊貴(京都府立洛南病院副院長)、横川江美子(NPO 法人全国薬物依存症者家族会連合会理事長)、齋藤行博(法務省矯正局成人矯正課企画官)、櫻井美香(警察庁刑事局組織犯罪対策部薬物銃器対策課国際薬物・銃器犯罪組織捜査指導官))を開催(会場: グランドアーク半蔵門)。

<平成30(2018)年>

1 月 22 日 懸賞論文「オリンピック・パラリンピック東京大会の安全安心な開催のための対策を考える」授賞式を実施(会場: グランドアーク半蔵門)。

2 月 14 日 京都産業大学社会安全・警察学研究所と共催でシンポジウム「児童虐待事案への刑事的介入における多機関連携」を共催(会場: グランドアーク半蔵門)。

2 月 23 日 警察政策フォーラム「自動運転の実現に向けた今後の課題」(基調講演等: 藤原静雄(中央大学大学院法務研究科教授)、内村孝彦(特定非営利活動法人 ITS Japan 常務理事)、横山利夫(一般社団法人日本自動車工業会自動運転検討会主査))を開催(会場: グランドアーク半蔵門)。